

作成日：2000年 10月 04日
改定日：2020年 03月 19日
改定日：2021年 03月 19日
改定日：2023年 01月 01日
改定日：2023年 07月 01日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	小口シーラー F-S L
会社名	株式会社 LIXIL
住所	〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町 4022-23
担当部署	LWT Japan タイル事業部 タイル製造部 タイル国内調達センター 品質技術課
TEL 番号	0572-43-3237
FAX 番号	0572-43-3214
推奨用途	塗料用樹脂
使用上の制限	工業用途に限る。食品用途での使用は出来ません。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	生殖毒性	区分 1A
	生殖毒性	授乳に対する又は授乳を介した影響 (追加区分)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (中枢神経系)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (中枢神経系, 腎臓)
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

[GHS ラベル要素]

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性の高い液体及び蒸気 (H225)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
皮膚刺激 (H315)
強い眼刺激 (H319)
吸入すると有害 (H332)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
授乳中の子に害を及ぼすおそれ (H362)
臓器の障害 (中枢神経系) (H370)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系、腎臓）
(H372)
水生生物に毒性（H401）
長期継続的影響によって水生生物に有害（H412）

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。（P202）
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。（P210）
容器を密閉しておくこと。（P233）
容器を接地しアースをとること。（P240）
防爆型の電気機器、換気装置及び照明機器を使用すること。（P241）
火花を発生させない工具を使用すること。（P242）
静電気放電に対する措置を講ずること。（P243）
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。（P260）
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。（P263）
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。（P264）
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
（P270）屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。（P271）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。（P280）

応急措置

飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。（P301+P310）無理に吐かせないこと。（P331）
皮膚に付着した場合 多量の水で洗うこと。（P302+P352）
皮膚（又は髪）に付着した場合 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
（P303+P361+P353）
吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
（P304+P340）気分が悪いときは医師に連絡すること。（P312）
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
（P305+P351+P338）
眼の刺激が続く場合 医師の診察／手当てを受けること。（P337+P313）
ばく露又はばく露の懸念がある場合 医師に連絡すること。（P308+P311）
医師の診察／手当てを受けること。（P308+P313）
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。（P314）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。（P362+P364）
皮膚刺激が生じた場合 医師の診察／手当てを受けること。（P332+P313）
火災の場合 消火するために二酸化炭素、泡又は粉末消火器を使用すること。
（P370+P378）
保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。（P403+P233）
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。（P403+P235）
施錠して保管すること。（P405）
廃棄 内容物及び容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。（P501）

GHS 分類区分に該当しない他の危険有害性

区分 1/1B の皮膚感作性物質が 0.1%以上 1.0%未満 存在する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 アクリル樹脂溶液

名前	濃度 (%)	化学式等	官報公示整理番号		CAS 番号
			(化審法)	(安衛法)	
			化審法番号	安衛法番号	
アクリル樹脂	14.5－15.5	非公開	非公開 (既存化学物質)	非公開 (既存化学物質)	非公開
トルエン	84.5－85.5	C7H8	(3)-2, (3)-60	既存化学物質	108-88-3
アクリル酸ブチル	< 0.5	C7H12O2	(2)-989	既存化学物質	141-32-2

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の診断／手当を受ける。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ／取り除く。皮膚を流水／シャワーで洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受ける。

眼に入った場合 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、医師の診断／手当を受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の診断／手当を受ける。

応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な保護具（有機溶剤用の防毒マスク等）を着用する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。眼に接触すると、発赤痛み。飲み込むと、灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、粉末、二酸化炭素、泡消火剤

使ってはならない消火剤 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災危険性 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には、水溶性液体用泡消火薬剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移す。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。多量の場合、人を安全に退避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。悪臭等の発生のため、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策 河川等に流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用する。

安全取扱注意事項 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用する。取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

衛生対策 取扱い後は、石鹼で手を洗う。

局所排気・全体換気 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

保管

安全な保管条件 凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管し、保管時の温度が 5℃以下及び 40℃以上にならないようにする。使用後は、皮張り、腐敗防止のために、密栓（または密閉）して速やかに使用する。

安全な容器包装材料 消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

トルエン (108-88-3)	
日本 - ばく露限界値 (JCDB)	
管理濃度	20ppm
日本産業衛生学会	50ppm (188mg/m ³) (皮)
ACGIH	TWA 20 ppm, STEL -
アクリル酸ブチル (141-32-2)	
日本 - ばく露限界値 (JCDB)	
ACGIH	TWA 2 ppm, STEL -

設備対策 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄や身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク（有機ガス用等）

手の保護具 不浸透性の保護手袋

眼の保護具 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体

外観 合成樹脂溶液

色 無色透明

臭い 刺激臭

pH データなし

融点 -95℃（トルエン）

凝固点 データなし

沸点 111℃（トルエン）

引火点 6℃（セタ密閉式）

自然発火点	480 °C (トルエン)
分解温度	データなし
可燃性	データなし
蒸気圧	3.8 kPa (25°C) (トルエン)
相対蒸気密度 (20 °C)	3.1 (計算値) (トルエン)
相対密度	0.8-1.0 (23°C)
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
溶解度	水に不溶、アセトン等の有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.69 (トルエン)
爆発限界 (vol %)	データなし
爆発範囲 (上限、下限) (g/m ³)	1.1-7.1 vol% (トルエン)
粘度	1-20 mPa·s (30°C、BL 型、60rpm)
動粘性率	6.6mm ² /s (40°C)
粒子サイズ	データなし
粒径分布	データなし
粒子形状	データなし
粒子アスペクト比	データなし
粒子比表面積	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	高温または熱源。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有害な毒ガスを放出する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	分類できない (データ不足)
急性毒性 (経皮)	分類できない (データ不足)
急性毒性 (吸入)	区分に該当しない (気体) (非該当) 吸入すると有害 分類できない (粉じん、ミスト) (データなし)

トルエン (108-88-3)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 2600~7350mg/kg (初期リスク評価書)
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 12000~14100mg/kg (初期リスク評価書)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	ラット LC50 (6hr) 13055ppm (初期リスク評価書)、3319~7646、8000、8762ppm (EU-RAR)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 3143~9050mg/kg (SIDS)、900mg/kg (環境リスク評価)
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 2000~5700mg/kg (ECETOC、SIDS)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	ラット LC50 (4hr) 8.08~14.3mg/L (SIDS、ECETOC)

皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激

トルエン (108-88-3)	
皮膚腐食性／皮膚刺激性	ウサギ 皮膚刺激性試験 軽度～中等度の刺激性 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
皮膚腐食性／皮膚刺激性	ウサギ 皮膚刺激性試験 中等度～重度の紅斑、浮腫、弱い壊死 (8 日後に軽減) (SIDS、JPC) 皮膚や気道刺激性、皮膚の発赤、痛み (環境リスク評価)

眼に対する重篤な損傷性 強い眼刺激
／眼刺激性

トルエン (108-88-3)	
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	ウサギ 眼刺激性試験 軽度～重度の刺激性 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	ウサギ 眼刺激性試験 中等度～重度の損傷、虹彩炎 (SIDS、JPC) ウサギ 眼刺激性試験 軽度の角膜混濁 (SIDS) 眼刺激、眼の発赤、痛み (環境リスク評価)

呼吸器感作性 分類できない
(データなし)

皮膚感作性 分類できない
(データ不足)

トルエン (108-88-3)	
皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性試験 感作性なし (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性試験/マウス局所リンパ節試験 皮膚感作性 (SIDS、JPC) ヒトパッチテスト 陽性 (SIDS、DFGMAK) EU 分類 R43 (皮膚と接触すると感作を引き起こすおそれがある)

生殖細胞変異原性 分類できない
(データ不足)

トルエン (108-88-3)	
生殖細胞変異原性	ラット <i>in vivo</i> 染色体異常試験 (吸入暴露/腹腔内投与) 陰性 (初期リスク評価書) ラット 小核試験 弱い陽性 (初期リスク評価書) マウス <i>in vivo</i> 染色体異常試験/小核試験/姉妹染色分体交換試験 (経口投与/腹腔内投与) 陰性 (初期リスク評価書) マウス 優性致死試験 (吸入暴露) 陰性 (DNA 鎖切断なし) (初期リスク評価書) サルモネラ菌/大腸菌 エームス試験 陰性 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
生殖細胞変異原性	ラット/チャイニーズハムスター <i>in vivo</i> 染色体異常試験 (4 日間吸入ばく露) 陰性 (ECETOC、環境リスク評価) サルモネラ菌/大腸菌 エームス試験 陰性 (SIDS、ACGIH、環境リスク評価) SHE 細胞 不定期 DNA 合成試験/小核試験等 陰性 (環境リスク評価、SIDS) CHO 細胞 姉妹染色分体交換試験 陽性 (環境リスク評価、SIDS)

発がん性

分類できない
(データ不足)

トルエン (108-88-3)	
発がん性	IARC グループ 3 (ヒトに対する発がん性については分類できない) ACGIH A4 (ヒト発がん性因子として分類できない)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
発がん性	IARC グループ 3 (ヒトに対する発がん性について分類できない) ACGIH A4 (ヒトに対する発がん性物質として分類できない)

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

トルエン (108-88-3)	
生殖毒性	長期吸引した妊婦 早産、児で顔貌、成長阻害や多動など (初期リスク評価書) 妊娠ラット/マウス 吸入暴露試験 母動物の死亡、児で骨化遅延、無尾、胸骨癒合、過剰肋骨等 (初期リスク評価書) 胎盤通過、母乳に分泌 (SIDS)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
生殖毒性	妊娠 6 日から 15 日のマウス 強制経口投与試験 2500mg/kg/day 以上: 吸収胚の増加、胎児で外表系、骨格系の奇形の増加 母動物 NOAEL = 100mg/kg/day、催奇形性 NOAEL = 200mg/kg/day (環境リスク評価、SIDS) 妊娠 6 日から 15 日のラット 吸入ばく露試験 137ppm 以上: 吸収胚の増加、胎児に外表系や骨格系の奇形等なし NOAEL = 25ppm (環境リスク評価、SIDS) 妊娠 6 日から 20 日のラット 吸入ばく露試験 203ppm 以上: 体重増加抑制、303ppm: 体重減少や胎児に奇形 NOAEL = 103ppm (環境リスク評価、SIDS)

特定標的臓器毒性
(単回ばく露)

臓器の障害 (中枢神経系)
眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

トルエン (108-88-3)	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	ヒト 8 時間吸入ばく露 750mg/m ³ : 筋脱力、錯乱、協調障害、散瞳、3000ppm: 重度の疲労、著しい嘔気、精神錯乱、重度の事故ばく露: 昏睡 (IARC) ヒト 摂取 約 1 クォート: 重度の腹痛、下痢、胃出血、重度の中枢神経系の抑制 (36 時間後に回復) (IRIS) ヒト 急性ばく露 高濃度: 麻酔作用、蒸気ばく露: 意識喪失 (EHC) ボランティア ばく露 200ppm: 一過性の軽度の上気道刺激 (PATTY)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	ラット 4 時間吸入ばく露試験 3.6mg/L: 痙性呼吸や横臥位、4.96~8.1mg/L: 鼻からの分泌液、喘鳴、立毛、12.1~16.0mg/L: 呼吸困難、振せん、閉眼 (SIDS) ラット 吸入暴露試験 (LC50=8.08mg/L) 肺のうっ血、肺炎 (SIDS) ラット 吸入暴露試験 (LC50=13.3 mg/L) 興奮、呼吸困難、鼻粘膜の充血、肺出血、肺浮腫、肺気腫 (ECETOC) 吸入暴露 灼熱感や咳、息切れ、咽頭痛 (環境リスク評価) 経口摂取 腹痛、吐き気、嘔吐、下痢 (環境リスク評価)

特定標的臓器毒性
(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (中枢神経系, 腎臓)

トルエン (108-88-3)	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	5年間以上吸引したヒト 無気力、虚弱、可逆性の腎臓尿細管性アシドーシス (初期リスク評価書) 9ヶ月間吸引したヒト 倦怠感、嗜眠、嘔吐、吐き気、貧尿、尿細管の変性と炎症 (初期リスク評価書) 1年間以上暴露されたヒト 神経系の障害 (振戦、運動障害、記憶障害など) (初期リスク評価書) 4~43年間暴露された作業員 神経衰弱症状 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	雌雄ラット 13週間吸入ばく露試験 108ppm: 鼻部粘膜の扁平化や血管叢の充血、211ppm以上: 眼及び鼻粘膜の刺激、鼻部粘膜の萎縮等、546ppm: 眼や鼻からの出血や呼吸困難、鼻部粘膜の化生や壊死、空胞変性等 (SIDS、環境リスク評価) 雌雄ラット 2年間吸入ばく露試験 15ppm以上: 鼻腔の嗅上皮の萎縮、嗅細胞や線毛細胞の基底細胞過形成の増加、135ppm: 角膜実質の変性や新生血管形成の増加 (SIDS、環境リスク評価)

誤えん有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

トルエン (108-88-3)	
誤えん有害性	ヒト 吸引性の液体 化学性肺炎のおそれ (DFGMAK) 動粘性率 0.65 mm ² /s (25°C、計算値) (DFGMAK)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
誤えん有害性	飲み込む (誤嚥) 化学性肺炎のおそれ (環境リスク評価)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性
短期 (急性)

水生生物に毒性

水生環境有害性
長期 (慢性)

長期継続的影響によって水生生物に有害

トルエン (108-88-3)	
生態毒性	魚類 (ヒメダカ) LC50 (96hr) 25mg/L、NOEC (14day) 0.7mg/L (初期リスク評価書) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 (48hr) 4.1mg/L、NOEC (21day) 1.2mg/L (初期リスク評価書) 藻類 (ムレミカヅキモ) ErC50 (72hr) 12.5mg/L、NOEC (72hr) 9.1mg/L (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
生態毒性	魚類 (メダカ) LC50 (96hr) 2.42mg/L (J-CHECK) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 (48hr) 5.23mg/L (J-CHECK) 藻類 (ムレミカヅキモ) ErC50 (24-72hr) 2.38mg/L、NOECr (24-72hr) 0.1mg/L (J-CHECK)

残留性・分解性

トルエン (108-88-3)	
残留性/分解性	生分解性試験 (2週間) 良分解性 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
残留性／分解性	生分解性試験 (2週間) 易分解性 (環境リスク評価、既存点検)

生体蓄積性

トルエン (108-88-3)	
生体蓄積性	log Pow=2.73 (測定値) (初期リスク評価書) BCF=13,90 (初期リスク評価書)

アクリル酸ブチル (141-32-2)	
生体蓄積性	BCF=13 (計算値) (環境リスク評価)

土壌中の移動性

トルエン (108-88-3)	
土壌中の移動性	Koc=270 (計算値) (初期リスク評価書)

オゾン層への有害性

分類できない (データなし)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG)	1866
品名 (国連輸送名) (UN RTDG)	樹脂液
容器等級 (UN RTDG)	II
輸送危険物分類 (UN RTDG)	3
危険物ラベル (UN RTDG)	3



クラス (UN RTDG) 3

海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG)	1866
品名 (国連輸送名) (IMDG)	RESIN SOLUTION
容器等級 (IMDG)	II
輸送危険物分類 (IMDG)	3
危険物ラベル (IMDG)	3



クラス (IMDG) 3

航空輸送 (IATA)	
国連番号 (IATA)	1866
品名 (国連輸送名) (IATA)	Resin solution
容器等級 (IATA)	II
輸送危険物分類 (IATA)	3
危険物ラベル (IATA)	3



クラス (IATA)	3
海洋汚染物質	非該当
国内規制	
陸上規制	消防法及び道路法の規定に従うこと。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
指針番号	130
その他の情報	容器の転倒、落下、摩擦など、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。容器ごとの漏れの有無、栓の閉まり具合を確認する。

15. 適用法令

国内法令	
化審法	優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項) トルエン
労働安全衛生法	第 2 種有機溶剤等 (施行令別表第 6 の 2 ・ 有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号) トルエン 作業環境評価基準 (法第 6 5 条の 2 第 1 項) トルエン 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 2 号別表第 9) トルエン 危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号) その他の引火点 0℃以上 3 0℃未満のもの 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9) トルエン (政令番号：407) アクリル酸ノルマルブチル (政令番号：4) 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者 (法第 6 6 条第 2 項、施行令第 2 2 条第 1 項) トルエン
毒物及び劇物取締法	幻覚又は麻酔の作用を有する物 (法第 3 条の 3、施行令第 3 2 条の 2)
水質汚濁防止法	指定物質 (法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3) トルエン
麻薬及び向精神薬取締法	麻薬向精神薬原料 (法別表第 4 (9)、指定令第 4 条) トルエン
消防法	第 4 類引火性液体、第一石油類非水溶性液体 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1 ・ 第 4 類)
悪臭防止法	特定悪臭物質 (施行令第 1 条) トルエン
大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質 (中央環境審議会第 9 次答申) トルエン

	揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）
	揮発性有機化合物
	揮発性有機化合物 法第2条第4項（平成14年度VOC排出に関する調査報告）
	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	危険物（施行令別表第1の4）
	トルエン
	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）
	トルエン
	アクリル酸ブチル
船舶安全法	引火性液体類（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年環境省令第12号）イに掲げる有機溶剤を含む物
化学物質排出把握管理促進法（PRT法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
	トルエン（政令番号：300）（85%）
労働基準法	疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）
	トルエン
	アクリル酸ブチル
	感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）
	アクリル酸ブチル

16. その他の情報

その他

本 SDS は 2021/03/19 の情報に基づき作成したものととなります。

SDS の情報は、信頼できると判断された情報源から入手していますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。使用者各位の責任において、材料の適合性を判断頂くようお願いいたします。使用者各位においては、正しい使用と廃棄を行うため、また従業員と顧客の安全と健康及び環境の保護を確実にを行うために、当該 SDS の情報に加えて、自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性を判断ください。